

都城工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	情報基礎 I
科目基礎情報					
科目番号	0011		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	最新情報の科学（岡本敏雄、実教出版）、情科302完全準拠 最新 情報の科学 学習ノート（解答編付）（実教出版編修部編、実教出版）、2016 事例でわかる情報モラル（実教出版編修部編、実教出版）、30時間でマスター Office2013（Windows8対応）（実教出版編修部編、実教出版）				
担当教員	中村 博文				
到達目標					
1）情報のデジタル表現を理解し説明やデータ量の計算ができること。 2）コンピュータ及びネットワークのしくみの概要を理解し説明できること。 3）情報社会におけるルールやモラルを理解し説明できること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安(可)
評価項目1	情報のデジタル表現を理解し、主要な概念を正しく説明できデータ量に関して正しく計算できる。		情報のデジタル表現の関連する概念の一部を正しく説明でき、一部のデータ量に関する計算が正しくできる。		情報のデジタル表現の一部の事実を確認でき、データ量に関する計算の一部の事実を確認できる。
評価項目2	CPU、五大機能、パケット通信の動作を理解し、主要な概念を正しく説明できる。		CPU、五大機能、パケット通信の関連する概念を正しく説明できる。		CPU、五大機能、パケット通信の一部の事実を確認できる。
評価項目3	情報社会におけるルールやモラルを理解し、主要な概念を正しく説明できる。		情報社会におけるルールやモラルについて関連する概念を正しく説明できる。		情報社会におけるルールやモラルについて一部の事実を確認できる。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標・サブ目標との対応 2-1					
教育方法等					
概要	学校や家庭や職場で用いられる情報の活用・発信の手段や、情報の処理・通信の技術の概要の理解と、活用・発信の初歩的技術の修得、情報セキュリティ及び活用・発信における個人の責任の理解を目的とする。				
授業の進め方・方法	課題は期限までに実施すること。授業日は記憶媒体も持参すること。実力養成試験もないがしるにしないこと。提示する課題に自宅等や演習室等で取り組むこと。				
注意点					
ポートフォリオ					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業計画の説明、記号と名称、情報技術と社会		
		2週	パソコン操作、タッチタイプ、日本語入力演習、情報技術と社会		
		3週	情報モラル：ネット社会のモラルとマナー概要、情報の表し方		
		4週	情報の表し方		
		5週	情報の表し方		
		6週	コンピュータでのデジタル表現		
		7週	表計算ソフト演習		
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	試験解答、タッチタイプ		
		10週	情報モラル：ネット社会での生活と危険性概要		
		11週	タッチタイプ、表計算演習		
		12週	コンピュータの仕組み		
		13週	ネットワークの仕組み		
		14週	タッチタイプ、表計算演習		
		15週	前期末試験		
		16週	試験解答、情報モラル：個人情報と知的財産概要		
後期	3rdQ	1週	ワープロ演習		
		2週	情報システムと情報セキュリティ		
		3週	ワープロ演習		
		4週	情報システムと情報セキュリティ		
		5週	表計算演習		
		6週	情報システムと情報セキュリティ		
		7週	表計算演習		
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	試験解答、ワープロ演習		
		10週	情報モラル：情報セキュリティとネット被害概要		
		11週	ワープロ演習		
		12週	問題の分析とモデル化		

		13週	問題の分析とモデル化				
		14週	ネットワークの活用				
		15週	学年末試験				
		16週	試験解答				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的理解	60	10	0	0	0	0	70
応用能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0